

避難

自助・共助・公助



自助・共助・公助の3つの連携の向上が、災害被害を軽減させます。被災を自分自身の問題としてイメージすることが重要です。

- 自助……自分の命は自分で守る
- 共助……自分たちの地域は自分たちで守る
- 公助……行政や公的機関が取り組むこと

住民や事業所の防災活動



自主防災組織や各種団体による防災活動 町や消防本部、県、国による防災活動

避難

避難時の心得



情報の収集と自主的避難を

防災行政無線・テレビ・ラジオ・インターネットなどで最新の気象情報、避難情報に注意して、危険を感じたら自主的に避難しましょう。



お年寄りや身体の不自由な人、小さな子供を優先する

お年寄りや体の不自由な人は背負うなどして、一緒に避難しましょう。はぐれないようにお互いの体にロープを結んでおくと、子供連れでも安心できます。



避難する前に確認を

避難する前には、ガス栓やガスメーターを閉め、テレビなどのスイッチを消し、電気のブレーカーを落としましょう。



動きやすい格好、2人以上での避難

避難するときは、動きやすい格好で、2人以上での避難を心がけましょう。



足元に注意を

くぼみや溝を確かめるため、長い棒などで足元の安全を確認しましょう。



徒歩で避難を

車での避難は浸水すると動けなくなります。基本的には徒歩で避難しましょう。



2階以上へ避難を

外へ出ることが危険と感じた場合は、自宅や近くの建物の2階以上に避難し、水が引くのを待ちましょう。



履き物に注意する

運動靴が最適です。長靴は、水深が深いと中に水がたまるので動きにくくなります。素足は厳禁です。



避難

避難所での過ごし方



避難所では共同生活のルールを守りましょう。

避難所では、大勢の方で共同生活をしていただくこととなります。浸水の状況によっては、避難所での生活が数日間に渡る場合もありますので、ルールを守りお互い協力して生活するよう心がけましょう。

避難所内では、係員の指示に従ってください。



避難所では食料、毛布等が用意されています。



洪水の状況に関する情報が、町により伝達されますので、落ち着いて情報を待ってください。



避難所から出るときには、必ず係員に伝えるようにしてください。

